

新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～



北海道札幌市 新川さくら並木連合町内会

①社会資本の概要

北海道札幌市を流れる新川は、市街地西部から日本海に流れる全長12.5kmの二級河川です。明治20年頃に運河を兼ねた大排水事業として囚人達により造り上げられた直線の人工河川で、整備により琴似発寒川等の氾濫や低湿地帯が解消し開拓されてきました。



春先の新川さくら並木

やがて、開拓された農地は宅地・商工業地化が進みましたが、一方で他の地域に比べ誇れるものが見当たらないとの先人達の思いがあり、新川堤防沿いに桜並木を実現し誇れる街にしたいとの夢と熱意から桜並木が整備されました。



琴似川・新川・琴似発寒川の合流地点

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和40年代「特色の少ない新川に何か誇れるものを」との先人達の思いから始まった桜並木の構想が30年以上の歳月を経て平成12年に実現しました。「地域の人々が集い憩えるものを創り、郷土愛の醸成につなげたい」と地元住民や企業から寄付を募り平成10年から桜の苗木755本を植樹しました。新川沿いは日本海の石狩湾から冷たい風の影響を受ける地であり、-20℃でも越冬できる桜を植えるなど工夫を凝らし、今では立派な桜並木を形成し、



平成10年から3年かけ植樹が完成



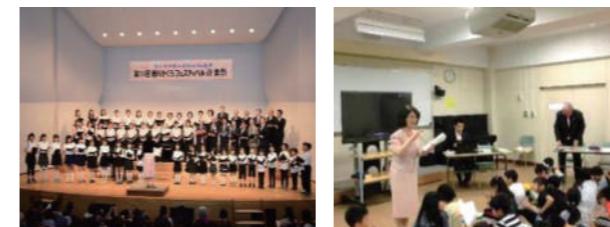
桜並木の美化清掃活動



ウォーキング大会

③活動の成果や波及効果等

平成13年から始め、今年で18回目を迎える「新川さくらフェスティバル」は、連合町内会が開花時期にあわせ実施し、清掃活動やウォーキング大会には300名を超える参加者が集い、音楽祭には1,500名程が会場を訪れるイベントになりました。また、最近では小学生への地域学習活動を行い、桜並木を通じた郷土愛の醸成に努め、これらの活動が広がりを見せています。今年、植樹20周年を記念して行われたライトアップには地域の内外から多くの方が訪れて感動を呼び、桜並木は新川の名所から札幌の名所へと波及しています。



新川さくらフェスティバル音楽祭 小学校での地域学習活動



キャラクター「ちえりぼー」 いつまでも綺麗な川と桜をイメージ 植樹20周年を記念し開催したライトアップ

所在地

北海道札幌市北区北23条西14丁目から日本海河口付近まで

活動主体及び連絡先

新川さくら並木連合町内会
(011-762-2604 新川まちづくりセンター)

対象となる社会資本

2級河川新川水系 新川、琴似川

※管理者：北海道

●●● 喜びの声 ●●●



受賞者

新川さくら並木連合町内会
会長 佐久間 五十也

コメント

この度は「手づくり郷土賞」に選定いただきありがとうございます。今までの活動が地域の誇りを創り出した証となりました。これからも子供達とさくら並木を大切に見守っていきます。小学校での学習活動で目をキラキラさせて参加してくれる3年生に今年も会えることを楽しみにしています。

活動の内容

桜並木の景観保全活動や関連活動、地域学習活動など

活動の経緯

昭和51年 河川法により桜植樹断念
平成9年 河川法改正
新川連合町内会で桜並木造成事業の推進を決定
平成10年 植樹開始
平成12年 植樹が完了し翌年から清掃活動等の記念行事実施
平成30年 植樹20周年記念
桜ライトアップ事業

